

座禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診 察 日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00、
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

155号 2017.2.1.
 毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介



子どもたちへの「避難いじめ」なぜ

松井英介

「放射能が来た」「福島をやつの意見は聞かねえ」。福島から千葉に移り住んだ小学生が、学校で投げつけられた言葉。「避難いじめ」千葉でも。2017年1月27日付東京新聞は一面で、今もつづく、転校を余儀なくされる子どもたちの被害の実態を伝えました。

核大惨害によって心とからだに大きな傷を負った子どもたちを狙った心ないいじめが後を絶たないのは、なぜでしょう。

3. 11福島第一原発大惨事から間もなく6年。安倍政権は、核による健康被害を避けて全国各地へ移り住んだ家族への住宅補助を打ち切り、核汚染地域への帰還を強いています。

東京でオリンピックができるのだから、もはや何も問題はないと、ブエノスアイレスのIOC総会で演説。トルコやインドをはじめ、世界各国への日の丸原発売り込みに走り回ってきた安倍首相。彼にとって、福島など汚染地域から各地に移り住んだ人びとは、核ビジネスの邪魔もの以外の何ものでもないのではないのでしょうか。

元をたどってみれば、「原子力の平和利用」原発推進計画。すなわち、広島・長崎の原爆被害さらにビキニ核実験恐怖を和らげ、核による経済発展をイメージアップするアメリカ合衆国の日本占領政策の要でした。

冒頭に紹介した「避難いじめ」記事のすぐ隣には、久しぶりに「地球最後の日」まで2分30秒— とアメリカの雑誌「Bulletin of the Atomic Scientists プレティン・オブ・ジ・アトミック・サイエンティスト」の「終末時計」が紹介されました。2面に掲載された記事は次のようです。

「残り時間が最も短かった1953年の『2分』に次ぎ、翌54年からの64年間で最も短くなった。核兵器削減や地球温暖化対策でほとんど進展がなかったことや、これらの問題についてのトランプ新大統領の後ろ向きな発言などが理由」

昨2016年8月6日オバマ前大統領は、岩国基地から米軍ヘリコプターで、「核のボタン=フットボール」とともに広島被爆者慰霊碑を訪れ、「死が天から降って来た」などと被爆者を侮辱しました。

トランプ新大統領が「核のボタン」を押すのを阻止するため、今こそ、世界の人びと・子どもたちと手をつなぎましょう。

